



榊原病院 Monthly

Vol.06
2015.May

独立行政法人 国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital
発行者 榊原病院企画課

院長

村上 優(むらかみ まさる)

1949年生まれ

74年九州大学医学部卒

86年国立肥前療養所精神科医長、2002年同療養所臨床研究部長、

同年King's College London Institute of Psychiatry(司法精神医学研究所)長期研修。

2005年花巻病院臨床研究部長(併任)、2006年琉球病院長を経て、2014年榊原病院長に就任。

日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事。

NGOベシャワール会の会長として活躍。

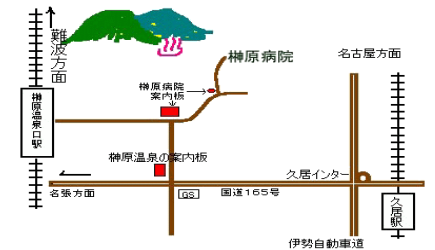


診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 126床

- ・ 精神科病棟 108床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 認知症ユニット
- ・ アルコール・薬物依存症ユニット



電車・バス／近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。
自動車／久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分
マイクロバス／久居駅より直通バス(約25分)

病院理念

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

〈精神科看護の発展〉

看護部長 西谷 博則

初めまして、4月1日付で榊原病院看護部長に着任いたしました西谷と申します。

前任地は、沖縄県の琉球病院でした。沖縄を出発する頃は、既に半袖、気温は25度を超えていました。こちらに参りまして、久しぶりの桜の出迎えに、思わずカメラを構えてしまいました。榊原病院通路、玄関前では染井吉野や枝垂桜が、優しく迎え入れてくれているかのように咲き誇り、初めての地への着任の緊張を和らげてくれました。あいにく雨が続きましたが花冷えも数年ぶりの感覚で新鮮でした。簡単に自己紹介をさせていただきますと、出身は鹿児島県、これまで関東甲信越、九州管内の臨床を経験してきました。精神科看護では、肥前精神医療センターでの認知症看護、そして平成17年施行の医療観察法に基づく司法精神看護の経験が、今の私を支えていると思います。医療観察法に関しては、当院の村上院長先生、壁屋心理療法室長と準備段階から、指針やシステム作成、研究等に関わらせていただき、英国研修留学、東京での合宿と苦しくも充実した時期を過ごした思い出があります。

さて、これからの私の課題について少し述べてみます。当院は、昨年7月に村上院長が就任され、「榊原病院への道」(5年後将来構想)が表明され、既に歩みが始まっているところです。アルコール等の依存症、難治性統合失調症(重度かつ慢性)の医療、認知症医療、ACT(包括的地域医療)、司法精神医療等々の専門精神科医療の構築、そして経営再建への方針等、具体的な目標、計画が将来ビジョンと共に示され、近未来の榊原病院の姿が描かれています。私の役割、課題ですが、看護部門の統括者として今後に向けた歩みのための看護体制整備、看護職員的能力、質の向上の取り組みが先ず第一と考えています。つまり、院長の示されたビジョンを如何に遂行するか、そのための人材の基盤、環境整備です。人の育成、教育には時間が必要であることは承知していますが、当院の置かれている状況に何年もの猶予はありません。臨床実践の中で、看護師一人一人、ケアの一つ一つを高みへと推進していくための変革にチャレンジしたいと思います。もう一つ、当院の再生の鍵は、「多職種チーム医療の展開」と考えています。その要は看護職です。看護師は24時間、患者さんの一番身近な存在として、医師をはじめ全ての職種と関係、連携しながらケアに当たっています。私たち看護師には各職種の協調、連携をコーディネートする重要な役割があると思います。提供する医療の質の向上は、もはや一つの職種で叶うものではなくチーム医療の展開によって成し遂げられるものだと思います。看護の変革とともに職種横断で治療促進を図るための「多職種チーム医療の展開」も私の重要課題だと考えます。まだまだ発想は抽象的ですが、今後、マンスリーの紙面を通じて、具体的な挑戦を紹介していきたいと考えています。

最後に、当院の理念である「この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である」の下、看護実践は、「心に寄り添い、心を繋ぎ、心を高める看護」を提供していきたいと考えています。この思いは長年の精神科看護を通して私の胸の奥にあった信念でもあります。看護の基本は、患者さんに寄り添い続けること、精神看護は、人と人の関係性が重要で信頼関係を通して患者さん自身が健康回復を志向できるように支援することと考えています。私は、患者さんと共に医療、看護を作り上げていきたいと考えますし、当院はその一歩を踏み出していると思います。これからの榊原病院は着実に変革、変化を成し遂げていくものと確信しています。

皆さまのご理解、ご協力、ご支援を心からお願い申し上げます。

トピックス



● 平成27年5月以降、寺子屋・榊原塾「今日の精神医学と医療」を開催いたします。

各精神科領域の専門家を特別講師として招き、若い精神科医師や多職種を「今日の精神科医学と医療」に照らして育成することを目的としています。参加は、院内の医師をはじめとする多職種のスタッフ、院外からも守秘義務を負った専門職であれば参加は自由です。

- 「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)指導者養成研修」
平成27年6月15日(月)～18日(木)



QRコード



- アルコール家族教室(4/23、5/14、5/28、6/11、6/25、7/9、7/23、全7回13:30～14:50)
- 平成27年4月よりデイ・ケアを週2日から週3日に拡大しました。
- 平成27年2月より北2病棟が南1病棟に移転しました。
- 平成27年1月より「禁煙外来」をはじめました。

地域医療連携室だより

＜統合失調症 家族教室のお知らせ＞

本年7月より11月にかけて、統合失調症をおもちの患者様のご家族を対象とした家族教室を8回シリーズで行います。前回の家族教室では、病気の知識と共に、病気とうまく付きあうための工夫や対処法を、参加されたご家族全員で学び合いました。また、ご家族同士の交流の場ともなり、気楽に病気の話ができて、和気あいあいとした雰囲気でした。家族教室への参加を希望される方は、地域医療連携室・外来までお問い合わせ下さい。



スマイル

空床状況
4月30日現在

精神科病棟
5床

訪問看護

当院の訪問看護は、退院後地域で安定した生活が送れることを目標といたしております。退院後の課題といたしましては、大切な薬を中断してしまうこと・生活リズムを守れず昼夜が逆転してしまうことやお金の管理が上手くできず使いすぎて生活に困る等の病状がみられます。

これらの症状の悪化に伴い再入院する方が多くなっております。患者様と家族の困ったことについて、地域の方々の支援を受けながら一緒に考え、安定した生活ができることを目標といたしております。

治療抵抗性精神疾患への医療

＜クロザピンの治療状況＞

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、平成27年4月までに全症例は16例となりました。4月の新規導入は1例でした。5月以降も順次投与を開始する予定です。榊原病院ホームページに『治療抵抗性疾患部門』を掲載しました。一度、ご覧ください。また、今後クロザピン専門外来の開設についても準備を進めていく予定としています。



認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

（認知症医療）

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状(BPSD)に対応しています。

一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

＜アルコール・薬物依存医療＞

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか。「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」(健康日本21)と言われております。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。4月から当院のアルコール・薬物依存症治療のプログラムをリニューアルしました。

お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。



＜こころのリスク外来＞

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われております。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

デイ・ケア案内

＜4月よりデイケアを拡大しました＞

平成27年4月1日(水)から、デイケアの実施時間が午後半日のショートケアから、1日(9:30～15:30)のデイケアに変わります。曜日についても、月・水の週2日から月・水・金の週3日に変わりました。

朝から参加するのは大変だという声もありますが、朝から起きて活動する場所として活用して頂きたいと思っております。昼食づくり等の新しいプログラムも行います。

参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。

主な内容： 統合失調症疾患教育、スポーツ、昼食づくり、カラオケ など



榊原は自然がいっぱい！
お話ししながら歩きませんか？



大人気のクッキング教室で、
カレーライスを作りました。